

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山梨県甲州市立塩山南小学校

【取組内容】子ども自ら学びをデザインしていくための単元設計

- 子どもが学習の見通しをもてる学習の流れとゴールの共有化
- スケールによる単元設計 & 子どもに学びを委ねる

○ 学習の流れとゴールの共有(全学年)

・1時間の学習内容と流れ、本時のゴール(めあて)を児童と共有する。共有することで、見通しをもって学習に取り組めたり、自分で本時のめあてを設定することで、学習が自分事となり主体的に取り組めるようになってきた。

10月30日 小数のいろいろな見方

10月30日

【問題】 3.7はどんな数といえるでしょう。

【か題】 3.7をいろいろな見方でせつ明しよう。

【自分のめあて】 3.7を ()。

【ループリック】

B: 3.7を2つ以上の見方で表すことができる。

A: 3.7を2つ以上の見方で表し、言葉や式でせつ明することができる。

S: 3.7がいまいち数字でも言葉や式でせつ明することができる。

《ながら》教科書P25～27

【か題をきめる】

○ふく習タイム (ドライブからえらぼう！)

<https://drive.google.com/drive/folders/1IAkkfK2PRZqHYT00LPi>

○か題のかくにんループリックをえらぶーめあてをうつ。

https://docs.google.com/enreadsheets/d/1mFWdewwnVn5KtWkneLv_mS0m_Inrlr

【じょうほうを集める】→教科書、友だち、動画、学び方スライド、 のヒントコーナー

○学び方タイム (わかりやすいせつ明って?)

<https://docs.google.com/presentation/d/1SN0opgtTXZOU2GCLIC6TVpQay60YoT-miX6y-KGT>

○3.7がどんな数かせつ明を書く。(書き方がわからない人は先生のところに集合！いっしょに1つやってみよう！)

・使う物ーノート、紙のミニカード、ホワイトボード

・せつ明の方ほうー式、数直線、くらい取表、図、言葉など

○すずみ具合を写真にとって のせよう！

※自分とはちがう考えの友だちにどんどん聞いてみよう！

<https://www.figma.com/board/NceZ5z0E9Uenryj8ungE1/%E7%AE%97%E6%95%B0?node-id=0-1&node->

※南小思考スキル

「⑤いろいろな点に目をつける」「⑥前に習った見方・考え方を使う」

【せり理・分せき】※南小思考スキル「⑥つまりでまとめる」

○つまりそれってどんな見方？一言で○○の見方と名前をつけて に書きこもう！

※今日の算数の見方・考え方は？【 】

教科書や友だちの考えを見てもうこれいじょうないと思ったら

○教科書p.27の△1→教科書に書いて先生に○をもらう。(2時10分には全員ここのへ)

○終わったら・・・①べつの数字にかえても同じようにせつ明できるか書いてみよう。(ノート、)

※数字が変わっても同じような見方ができるかな？

②問題づくり△1のような問題をつくってみよう！→答えもつくってください。

https://docs.google.com/presentation/d/1LaMf10RcCF40XKCTChSvExRoJyzjRX_DMJhtcD194/edit#slide=id.g

③: の問題に取り組んできたえよう！

○ 南小スケールによる単元設計

- ・学習の内容、発達段階、教科の特質に応じで教師が、5つの観点から単元を設計する指針とした。ただ単に子どもに学びを委ねっぱなしにするのではなく、意図と目的をもって子ども自身で学んでいける力と教科の内容の確実な定着を図れるようにする。
- ・協働的な学びと個別の学びのバランスも意図的に仕組んだ。

南小「学びのスケール」

	1	2	3	4	5
課題	教師が課題を決定	ほぼ教師が課題を決定	子供に選択肢から選ばせる	子供が選択肢をつくり、選ぶ	子供が自分で課題を決定
過程	教師が意識して過程を回す	子供が過程のどこかを意識する	過程の一部を子供が回す	ほぼ子供の意思決定で回す	すべての子供の意思決定で回す
形態	教師が誰と学ぶかを決める	教師が範囲を定めて誰と学ぶかを決める	過程の一部で誰と学ぶかを子供が決める	過程のほぼ全てで誰と学ぶかを子供が決める	すべての過程で誰と学ぶかを子供が決める
ツール	教師が何をを使うかを決める	ほぼ教師が何をを使うかを決める	子供に選択肢から選ばせる	ほぼ子供が自分でツールを決定	子供が自分でツールを決定
ペース	全員同じペースで学ぶ	ほぼ同じペースで学ぶ	一部学びたいペースで学ぶ	子供がほぼ学びたいペースで学ぶ	子供が学びたいペースで学ぶ

※三井一希(山梨大学)先生の資料をもとに作成

【南小スケールによる授業構想】第3学年算数(数の表し方やしくみを調べよう(小数))

	時数	1	1	2・3	4	5・6	7・8・9	10(本時)
課題	3 ▶▶▶▶▶	2 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶
過程	2 ▶▶▶▶▶	2 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	2 ▶▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶
形態	1 ▶▶▶▶▶	1 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶▶
ツール	1 ▶▶▶▶▶	1 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	2 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶
ペース	2 ▶▶▶▶▶	1 ▶▶▶▶▶	3 ▶▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶▶	2 ▶▶▶▶▶	5 ▶▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶▶

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

山梨県甲州市立塩山南小学校

【取組内容】子ども一人一人が自ら学びをデザインするための手立て

○学習形態・方法等の自己選択・自己決定

○自走できるための手立ての工夫(学習ガイド・パフォーマンス課題・必要な情報へアクセスできる環境づくり)

○ 学習の自己選択・自己決定

・だれと どのように学ぶのか は自己選択・自己決定して学んでいく。その際には、デジタルホワイトボード等を活用して、友達の考えを参照しながら、一緒に学ぶ相手や意見交流する相手を選ぶようにした。他者参照しながら交流する相手も選択し、対話的な学びを大切にしていって。孤独な学びにならないように、教師がファシリテートすることも大事にし、いろいろな他者と学ぶ経験をさせ、そのよさを価値づけるようにした。

学習形態(1人で/友達と/先生と)は児童自身に選択



○ 学習ガイドの共有

・高学年では、1時間毎の流れだけでなく教科によっては単元全体の流れとゴールを共有化する。学習計画も自分で立て、個別のペースで学びを進めていく。そのためには、パフォーマンス課題(追究がいのある課題設定)とチェックポイントを意図的に設定し、目的と見通しをもって主体的に学習に取り組めるように仕組んだ。

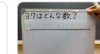
単元の課題	【学習課題】なぜたった20年でこんなに大きく変化したのだろうか。 【パフォーマンス課題】歴史探偵団！最大の取り組み・理由を探せ！江戸時代の終わりがたった20年で日本は歴史は、今までにない大きな変化が起きました。明治政府のどのような取り組みによって大きな変化が起きたのでしょうか？その中であなたが選ぶ日本を大きく変えた一番の取り組みは何でしょうか？それはどうしてですか？ 【条件】 ・明治政府が目指した国づくりを明確にすること ・政策など歴史上の人物が実際にやったことを根拠とすること ・スライド3枚以内に収めること	
課題	江戸から明治にかけて世の中はどのように変わったのだろうか？ B：江戸から明治にかけて世の中はどのように変わったのだろうか？ A：社会の見方・考え方を整理して説明できる。 S：今までの学習と関連付けて説明できる。	明治によって、人々の暮らしや政治がどのように変わったのだろうか？ B：明治によって人々の暮らしや政治がどのように変わったのだろうか？ A：社会の見方・考え方を整理して説明できる。 S：今までの学習と関連付けて説明できる。
ループバック	自分自身の課題を設定する。 【【第1組】社会科単元学習シート	新しい課題はどのような学習を目標としたのだろうか？ B：明治政府が行った改革からどのような国づくりを目指したのかを整理することができる。 A：社会の見方・考え方を整理して説明できる。 S：今までの学習と関連付けて説明できる。
課題の設定	自分自身の課題を設定する。 【【第1組】社会科単元学習シート	自分自身の課題を設定する。 【【第1組】社会科単元学習シート
ふりかえりシート	教科書p172・173の2つの学習からどのように関わっていたのかを読み取る。【一斉】 課題は、歴史・文化・社会・教育など視点を選択して、学習課題を作成する【一斉】 ・教科書p172・173から黒板(ペリ)実証の目的や結果の対比について読み取る【一斉】 【社会の見方】→文化・教育 【キーワード】→明治維新 開国	教科書p172・173の2つの学習からどのように関わっていたのかを読み取る。【一斉】 課題は、歴史・文化・社会・教育など視点を選択して、学習課題を作成する【一斉】 ・教科書p172・173から黒板(ペリ)実証の目的や結果の対比について読み取る【一斉】 【社会の見方】→文化・教育 【キーワード】→明治維新 開国
情報の収集	自分自身の課題を設定する。 【【第1組】社会科単元学習シート	自分自身の課題を設定する。 【【第1組】社会科単元学習シート
整理・分析	問題としてからの経験をまとめる 【問い】歴史を学ぶからには、いつまでもまとめる つまり江戸幕府はどうなった？	複数の課題を関連付けてつなぎまとめる 【問い】歴史を学ぶからには、いつまでもまとめる 明治政府はどのような国づくりを目指したのか？



←ヒントコーナー ↓教師の自作動画

【まとめ・発表】
○アップデートタイム(話してない友だちに2人以上にせつめよう！)
【3.7】は□な数です。式にすると〜。数直線にすると〜。くらい取り表にすると〜。
※ちがう数字の説明でもよい。

【ふりかえり】
○ふりかえりを入力する。(わかったこと&学び両方書いてみよう！)
https://docs.google.com/spreadsheets/d/1_mFwopdewnnVeg5KqWkqeyLmS0mJnrlgjid=1737512476&gid=1737512476

ヒント①.mp4
動画ヒント②.mp4
動画ヒント③.mp4
動画ヒント④.mp4
動画

👤 クラスのコメント

○ 必要な情報にすぐアクセスできる環境

- ・ヒントコーナー(デジタルホワイトボードに既習の学習内容や解決のヒントにいつでもアクセスできる)
- ・手作り動画(困ったときに教師の解説付きの動画を作成。自分のタイミングでいつでも何度でも解決のヒントが確認できる。)
- ・動画へのリンク集
- ・図鑑や本などの資料の用意

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

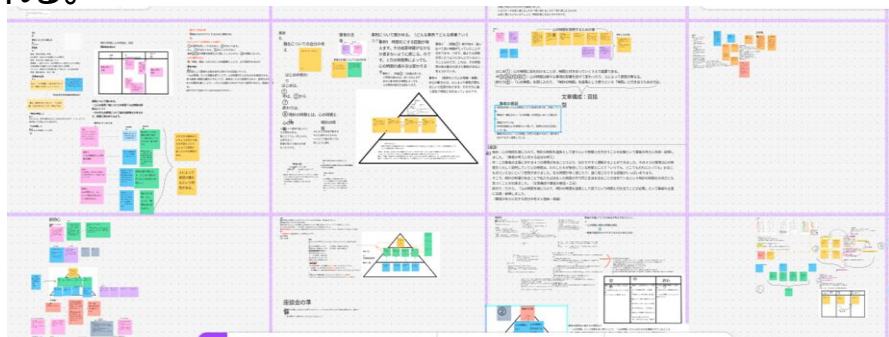
山梨県甲州市立塩山南小学校

【取組内容】 クラウド環境の積極的活用し、情報・子ども同士を「つなぐ」

- クラウド環境の積極的活用(他者参照と自己のモニタリング) ○教師のモニタリング(ファシリテート)
○個の学習をつなぐ端末と教師の役割 ○直接的な協働的学びと間接的な協働的な学びで個別の学びを支える

○ ホワイトボード機能を活用し、他者参照・途中参照をしやすくする

・ノート代わりにデジタルホワイトボードソフトを使用し、いつでもすぐに個々の学習を参照することができるようにした。悩んだときや困ったときは、友達の考えを参照しながら学習を進められる。



・デジタルホワイトボード上で確認した友達の意見をもとに、直接友達に考えを聞きにいったり相談しにいったりする相手を選択し、デジタル上だけでなく直接的で協働的な学びの活性化のために役立てた。教師も子どもの学習状況をモニタリングし、児童同士をつなぐ役割をしていく。

○ チャット機能で瞬時に情報の共有

・チャットに、個々の学習の進捗状況をのせたり、今日の自分のめあてをのせて共有化。教師がよいものを紹介しながら、児童の学習のしかたや考えを広げていく。よいものを共有しながら、友達と間接的に学び合い、ゆるやかにつながっていく。共有したものを個に再び返すことで、個別の学びを更に深めていった。



名前	今日の自分の目標(6時算数)	ふりかえり⑥
	めあて	事後
	20年前で日本が変化した最大の理由とは何なのか自分の考えをスライドにまとめよう。	今日は、20年前の間に日本が大きく変化した最大の理由について調べ、結果をもちに説明して自分の意見と友達と意見の違うところを説明した。また、自分の意見と友達の意見の違うところを説明した。また、自分の意見と友達の意見の違うところを説明した。また、自分の意見と友達の意見の違うところを説明した。
	たった20年でこんなに大きく変化したのは何なのか自分の考えをスライドにまとめよう。	なげた20年でこんなに大きく変化した最大の理由とは何なのか自分の考えをスライドにまとめよう。また、自分の意見と友達の意見の違うところを説明した。また、自分の意見と友達の意見の違うところを説明した。また、自分の意見と友達の意見の違うところを説明した。
	日本が変化した最大の理由について自分の考えをスライドにまとめよう。	今日と昨日で変化したスライドを見て友達と意見の違うところを説明した。また、自分の意見と友達の意見の違うところを説明した。また、自分の意見と友達の意見の違うところを説明した。

○表計算ソフトを活用した「ふりかえりシート」学習状況進捗シート

・表計算ソフトでふりかえりシートを作成。1枚のシートにクラス全員がふりかえりを入力する。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

山梨県甲州市立塩山南小学校

【取組内容】「探究サイクル」×「思考ツール」「南小思考スキル」による情報活用能力の育成

探究的なサイクルで、知識を構造化し深い学びへつなぐ

○「探究サイクル」×「南小思考スキル及び見方・考え方(適切な観点を決めて考える)」

○「探究サイクル」で問題解決能力を育成する

問題解決的な学習のプロセスの質を向上させることによって、児童の問題解決的な力を高めていくことを目指した。これは、**甲州市全体の授業スタイル**であり、全学年で探究プロセスによる学習を進めた。こうした一連の探究プロセスを、各教科内ではもちろん、あらゆる場面でも発揮できるようにしていく。

「一人一人が主語」の甲州市授業デザイン

■(2) 個別最適な学びと協働的な学びの日常化に向けた授業づくりのデザイン

甲州市授業デザイン⇒課題解決能力を高める探究のプロセスへ

常に「見方・考え方」を働かせる⇒適切な観点を決めて考える



学習者から見たサイクルの授業の型である「シンキング・サイクル」。「探究の型」でもある。

A: 課題の設定

B: 情報の収集

C: 整理・分析

D: まとめ・表現

このサイクルが単元内で何度も繰り返される。1時間の授業は必ず1サイクルではない。内容によって課題の設定⇒情報の収集⇒1時間。整理・分析⇒まとめ・表現等で1時間ということもある。順番の前後もある。ふり返りや評価は基本! 時間の最後に行われる。自分の学びをメタ認知する機会が必要。ステップごとに小さなふり返りが実は行われている。

○「南小思考スキル及び見方・考え方(適切な観点を決めて考える)」(思考の道筋を編み出す力)の育成

「南小思考スキル」とは、本校が以前から取り組んでいるどの教科にも働かせることができる汎用的な技法である。**各教科等の特質に応じた「見方・考え方」と、学び方としての「見方・考え方」(南小思考スキル)を身に付けさせること**によって、各教科等で身に付けさせたい資質・能力の向上につなげていく。探究プロセスの中で、教師も児童も考える技法を働かせて、自ら課題を見つけ、自ら解決しようとする児童の育成を目指した。

南小思考スキル

高学年

低学年

考えるときに使おうー南小思考スキル17条ー 高学年用 NO1

- ① どんな点かはっきりさせて比べる
- ② 物事を関連づける
- ③ 時間ごとの記録を見る
- ④ 原因、根拠、理由とむすびつける
- ⑤ いろいろな点に着目する
- ⑥ 条件は、何か? 条件をそろえる
- ⑦ 迷ったときは消去法で選ぶ
- ⑧ なかま分けをする
- ⑨ なかま分けをして見出しをつける

考えるときに使おうー南小思考スキル17条ー 高学年用 NO2

- ⑩ 正しく公平にみる
- ⑪ 多くの分野から多角的にみる
- ⑫ まとめてみる
- ⑬ ベストではないが、よりよいものをえらぶ
- ⑭ 「つまり」でまとめる
- ⑮ 「たとえば」でくわしく説明する
- ⑯ 前に学んだ見方・考え方をを使う
- ⑰ 「もし〜だったら」と考える

考えるときに使おうー南小思考スキル17条ー 低学年用 NO1

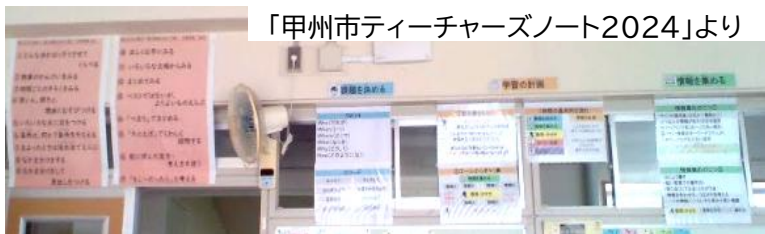
- ① くらべる
- ② つなげる
- ③ きろくをする
- ④ 理由を言う
- ⑤ よく見る

中学年

考えるときに使おうー南小思考スキル17条ー 中学年用 NO1

- ① どんな点かはっきりさせてくらべる
- ② 物事のかんけいをみる
- ③ 時間ごとのきろくをみる
- ④ 原いん、根きよ、理由とむすびつける

「甲州市ティーチャーズノート2024」より



○ 全学年の取組として情報活用能力育成

「探究サイクル」と「南小思考スキル」は各教室に掲示し、低学年から今までの学習段階で何をしているのかを意識化させる。繰り返し行い、児童自ら探究サイクルをまわして問題解決を図れるようにしていった。いずれは、児童自身で学習計画を立て、問題解決していくことを目指した。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

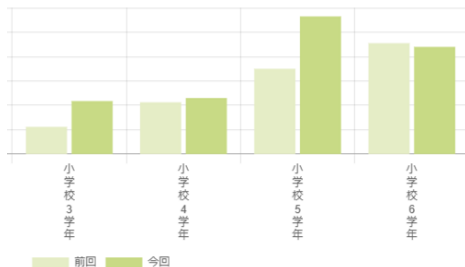
山梨県甲州市立塩山南小学校

【取組内容】学習の基盤となる情報活用能力&スキル&モラルの育成

- タイピングスキル向上の取り組み(みなみっこタイムでの実施) ○児童によるルール作りによるモラル育成
○情報活用能力の年間指導計画作成と年度ごとの見直し&次年度の学年への引き継ぎ

○みなみっこタイム(朝学習)でのタイピング練習

・毎朝、15分の学習時間を全校で設定。1週間のうち1日はチャレンジタイムとして、タイピング練習に取り組んだ。基本的なスキルであるタイピング入力の手が速くなり、自分の考えを表出する量が増加した。



らったんタイピングスキル
検定(R6年度 1月の結果)

○ルール作りは児童とともに

・チャットを開設するときや、新しいソフトを導入するときには活用のルール作りを児童と共に行う。スライド等でルールは残しておき、いつでも確認することができる。ルールがうまく守られなかったり、新たに必要になった場合は、再びルールを見直し、繰り返し、情報モラルを育成していく。

6年2組 チャットを使うときのルール

1. 人がいい気持ちで使えるように甲州市や学校のルールを守る
2. 相手の気持ちを考えてうつ
3. 悪口や傷つく言葉は打たない
4. 人や自分が嫌がる言葉は送らない
5. 自分の意見を言い、相手の意見にも反応してあげる
6. 自分の言葉に責任をもつ
7. 学習や内容に関係のあることをコメントする
8. 言葉を打ったらもう一度確認してから投稿する



○情報活用能力の年間指導計画の作成→教育課程に位置づけて年間を通して系統的に育成する

・甲州市の情報活用能力育成の系統表をもとに、年間指導計画を作成した。各学年で身につけておくべき情報活用能力を共通理解し、確実な力の育成を全校で行っていく。年度末には各学年でどこまでスキルが身についたのかを整理し、次年度に引き継いでいく。

甲州市情報活用能力系統表

発達段階	ICT活用標準スキル	情報モラル・セキュリティ標準スキル	情報活用・プログラミング
小学校段階	・スライドやなどの学習用アプリケーションの基本的な操作ができる。 ・情報キーワードで検索することができる。 ・クラスルームやMeet会議へ自分で参加することができる。 ・カメラ機能を使って静止画や動画を撮影することができる。 ・自分が保存したデータを読み出すことができる。 ・手書き入力や音声入力を使い、文字を入力することができる。 ・ローマ字に親しみ、ローマ字入力を使った文字入力に挑戦できる。	・インターネット上でのルールやマナーを守って、情報を活用することができる。 ・インターネット上でのルールやマナーを守って、情報を発信することができる。 ・自分や友達の情報を知ることができないことを理解できる。 ・自分や友達の情報を知ることができないことを理解できる。 ・不審なサイトにアクセスしない。	・身近なところから様々な情報を収集することができる。 ・簡単な絵や図、表やグラフを使って情報を整理できる。 ・1〜2点の情報から、分かったことをまとめることができる。 ・情報を見て共通点、違いや順序などを探ることができる。 ・出来事と関係する情報から、自分の考えをもつことができる。 ・複数の画面を示しながら相手に伝わるような発表ができる。 ・手順を順序立てて説明することができる。 ・適切な手順の組み合わせを考え、実行できる。

令和6年度

第6学年

塩山南小学校年間計画表

月		4月	5月	6月	7月
情報活用能力	基本的な操作	ファイル上やウェブ上で調べた結果を作成したスライドに、キーボードで使った文字を入力する。 (※文字の入力方法1分間)	学習活動や授業活動などで行った内容や学校の児童へのやり取りを行う際に Google Meet を活用する。	集めた情報や授業の結果をスライドシートに画像を作成して、まとめたファイルに格納する。	Classroom で配信された課題の提出期限や通知した、委員会活動や体育祭の予定を入力し、予定を管理して活用する。
	情報モラル・セキュリティ	言葉遣いや情報の正しさを調べ情報を発信したり、発信された内容に反応したりするなどのやり取りを行う。 (GPAO-93 高 GPA202-P81-84 GPAO-93)	先生が作成したクラスのスペース内で、先生からのメッセージに返信したり、本題に関する質問や意見を伝えたりしながら、チャットを利用する上で注意が必要ややさしい情報発信を促すなどのルールやマナーを学ぶ。	チャットを利用する上で、言葉遣いや正しい情報発信を促すなどのルールやマナーを学ぶ。	長時間の学習など、健康を害する行為に注意して利用することができる。 (GIGA 高 GPA93-100)
	情報活用・プログラミング	集めた情報やファイル上に示された情報から、行や文字、グラフのスタイルなどで整理する。	集めた情報やファイル上に示された情報から、行や文字、グラフのスタイルなどで整理し、情報の傾向や違いをさらに分析する。	集めた情報をグラフや表を使って可視化し、傾向や違いをさらに分析することともに、課題を決定する。 文の組み立てについて考える。	スライド上に集めた資料を整理し、編集や削除、コピーなどを行う。 手とり取り分けながら発表をする。
	国語	つないで、つないで、一つのお話 1 漢字 1 読む楽しみ、書く楽しみ 1 読み道 1 読み道 5	聞いて、考えよう 1 漢字の広場① 1 読む楽しみ、書く楽しみ 1 読み道 1 読み道 5	文の組み立て 1 たのしみは 1 天地の文 1 情報と情報をつけて伝えること 2	デジタル機器と私たち 2 夏のさかしり 1 私と本・星空を届けたい 5

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

山梨県甲州市立塩山南小学校

【取組内容】プレゼンテーションソフトとデジタル教科書等の活用で家庭学習と学校の学びをつなぐ

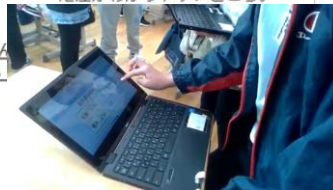
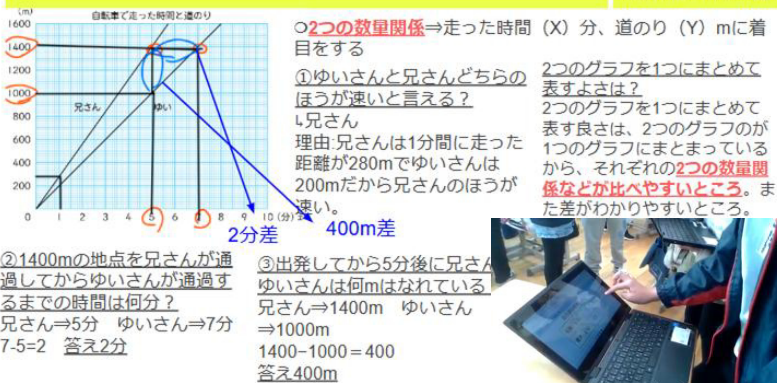
- 学校での学習をプレゼンテーションソフトを使い、家庭で学び直す
- デジタル教科書との併用で家庭学習の質を向上させる

○ プレゼンテーションソフトを活用した家庭学習

・学校での学習を家庭で、プレゼンテーションソフトにまとめ、学校での内容を学び直す。自分の学びや考えを整理し、確実な定着を図る。自分の言葉で表出・表現させる力も育成していく。

めあて グラフからいろいろなことを読み取ろう。

12月5日(木) No.7



○ デジタル教科書との併用

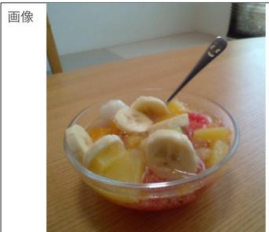
・デジタル教科書の基本的機能を活用し、書き込みした画像を添付し、自分の学習をまとめ直していく。家庭学習で行ってきたものは、次時にチャットで共有し、既習内容の確認にも活用。また、お互いの学習を共有し家庭学習の質も高めていく。



○ 一人一台端末を活用した家庭学習の例

- ・学習の振り返り入力を家庭で行い、学校での学習内容や学習方法を振り返る。
- ・体育の動画を視聴し、次の時間のポイントを確認する。
- ・校外学習前に関連動画を視聴する。
- ・自主学習ノートの代わりにプレゼンテーションソフトに自主学習を行う。
- ・長期休業中に家庭科などの実践を行い、その実践をプレゼンテーションソフトにまとめる。

夏休みの友P22 家庭科「白玉入りシュワシュワフルーツポンチ」
～オリジナルのフルーツポンチを作ろう～

作った日	7月22日(月)	つくったもの	・フルーツポンチ
画像		材料	・バナナ ・すいか ・パイナップル ・みかん ・サイダー ・白玉 ・メロン
		感想	・実際に作ってみて、簡単にできると思いましたが、少し難しいところもありました。(スイカやメロンをくり抜くことなど) 食べたら、美味しかったけれど、ぬるかったで次に作る機会があったら「冷たくする」ことに気をつけて作りたかったです。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

山梨県甲州市立塩山南小学校

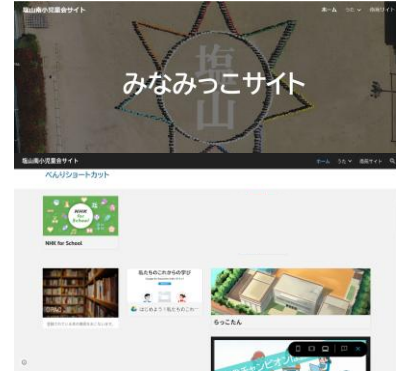
【取組内容】 WEBサイト作成ツールを使っの校務DX加速化

4つのサイトを活用！サイトへ集約して、使いやすさ、働きやすさアップ！



①教職員サイト

○週案、健康観察、起案、職員会議資料、年度始め資料、デジタル教科書、校内Meetリンクなどの校務に関わるものが全て集約されている。
○「何かするときは、いつもこのサイトから」、サイトが教員のプラットフォーム化しており使いやすく校務DXが加速化している。
○研修ページなどを設けて、有益なサイトを集めて、自主研究できるようにしてある。



②児童サイト

○Googleのソフトウェアや委員会からのお知らせ、たてわり班、委員会名簿、お悩み相談フォーム、図書室の蔵書検索機能など児童が学校生活で使うものは全て集約されている。
○どの学年の児童も使いやすいように、アプリのイラストなど視覚的にリンク先がわかるようになっている。
○どの児童も同じところから始めるので教員も指導しやすい。



③保護者サイト

○学年だよりなどの学校からの配布物は基本的にサイトへアップのみ。教員の印刷や配布の時間を削減されている。
○欠席連絡や緊急問い合わせフォームが載っており、保護者も学校への連絡がいつでも、どこでもできる。
○保護者はいつでも、どこでも配布物や学校からの情報を確認ができる。
○長期休みの作品募集課題などの要項の確認やGoogleカレンダーによる個人懇談の予約もこのサイトからできる。



④校内研究サイト

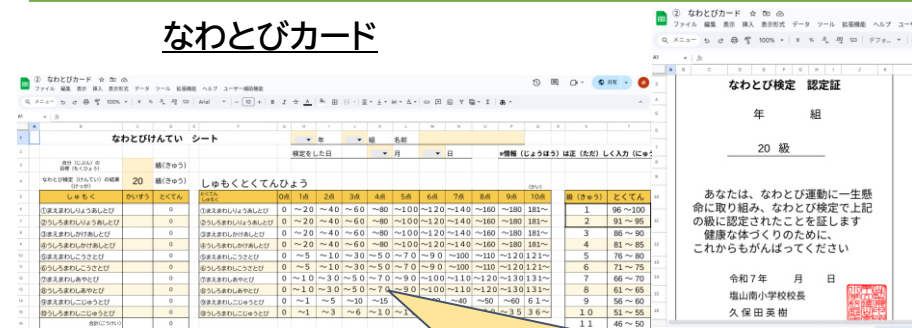
(画像にリンク添付)
○研究成果や課題などを研究紀要としてサイトへ集約している。研究授業の動画も載せることができるので、本校の研究をわかりやすくまとめることができる。
○紙での作成の手間を削減できる、さらにリンクを伝えることで本校の研究内容の共有も容易になっている。

4つのサイトの効果について

- サイトを教員も子どもも「全ての入口」として活用することで、校務DXの加速化がなされた。
- 保護者や外部の方が学校の情報を時間や場所を選ばずに確認ができるようになった。
- 印刷や配布、綴じ込みの作業が大幅に削減され、働き方改革にもつながっている。

【取組内容】 児童に関わる校務DX

なわとびカード



体育のなわとびの学習で行うなわとび検定にむけての、なわとびカードを表計算ソフトを用いて作成した。跳んだ回数を入力すると跳んだ回数が可視化できるようにグラフが自動反映される。また、跳んだ種目と回数によって得点が違うので計算が煩雑であったが、関数により自動計算できるようになり、瞬時に自分の級がわかるようになった。級が確定されると、名前と級が検定症に反映されデジタル検定証となった。印刷をする業務も削減できた。

児童に関わる校務DXについて

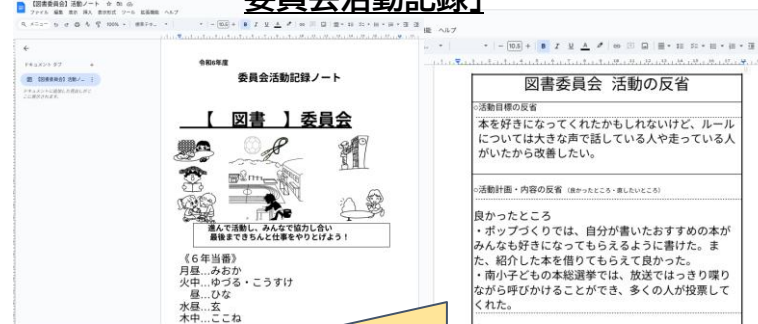
- 児童と教員が共同編集できるようにデータを共有することで、限られた時間の中で双方向のコミュニケーションができて、効果的に活動を進めることができる。
- 表計算ソフトのグラフや関数、デジタル検定証により、児童のやる気や使いやすさがアップした。また教員の業務も削減された。

たてわり班の6年生と各たてわり班の教員が同じ表計算ソフトを共有している。児童会行事に向けての打ち合わせや内容の検討をクラウド上で確認できる。実際に会ってからのたてわり班の6年生と各たてわり班の担当で話し合うときに、進捗を確認してあるので打ち合わせの時間が削減できた。



たてわり班進捗シ ート

委員会活動記録」



委員会やクラブの活動記録は文書作成ソフトを用いて記録している。児童も入力しやすかったり修正しやすかったりして、とてもスムーズに記録することができる。また教員もチェックがやすく、コメント機能などで修正案を伝えることができる。

リーディングDXスクール事業

【実践事例】

山梨県甲州市立塩山南小学校

【取組内容】 クラウドをフル活用！あらゆる校務をDX

動静表

表計算ソフトを用いて作成した。個人の動静表が一覧に反映される。クラウド上なので入力、修正が時間や場所を選ばずに簡単に可能になった！

文書作成ソフトの議事録のリンクもあり、すぐに記録ができる。

表計算ソフトを用いて資料のリンクを共有している。会議中の変更はその場で修正できる。常に最新の資料になるので紙での再配布は不要になり、業務改善になっている。またクラウド上にあるので場所や時間を選ばずに資料を確認できる。

健康観察

表計算ソフトを用いて作成。養護教諭は全クラスの出入状況をリアルタイムで把握できる。また健康観察簿を回収する手間がなくなった。担任は欠席理由などのメモをコメント機能により管理できるようになった！また、突然の早退や遅刻などは、時間や場所を選ばず修正できる。(リンクが貼られています。)

起案決済

表計算ソフトを用いて作成した。起案文書を時間や場所を選ばずに起案可能になった。！校長先生もいつでも、どこでも確認して決済ができるので、校務がスピーディになった。(リンクが貼られています。)

R6安全点検 (1月)

安全点検

アンケート集計ソフトを用いて安全点検を実施。その場で回答、提出となり業務が削減された。また結果もスプレッドシートへ反映されるので担当は集計する業務がなくなった。

クラウドフル活用の効果

- クラウドをフル活用、共同編集機能により複数の教員が同時に入力できる。また常に最新の情報が表示されているので、大変効率的になっている。働き方改革にもつながっている。
- クラウドの活用により、時間や場所を選ばずに校務を進めることが可能になった。様々なライフスタイルや働き方に対応できるようになっている。

リーディングDXスクール事業

【実践事例】

山梨県甲州市立塩山南小学校

【取組内容】 保護者との対応に関わる校務DX

カレンダーアプリによる個人懇談予約

個人懇談

⑩ 10 分の予約

予約時間を選択

2024年 7月	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7		
8	9	10	11	12	13	14		
15	16	17	18	19	20	21		
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31	1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11		

保護者が日程を選択するので懇談の日程調整の業務が削減された。保護者が予約すると自然と懇談スケジュールが完成する。

保護者は職場や自宅から自分のスマートフォンなどから懇談ができた。仕事のお休みが取りづらいご家庭や小さなお子様がいるご家庭は懇談がしやすくなった。



オンラインでの個人懇談



サイトから予約可能に！

先ほど紹介した保護者サイトへ予約リンクを載せることで、いつでもどこでも保護者は予約できるようになっている。

アンケートフォームでの問い合わせ対応

No.	お問い合わせ内容	対応内容
1	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
2	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
3	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
4	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
5	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
6	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
7	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
8	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
9	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
10	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
11	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
12	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
13	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
14	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
15	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
16	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
17	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
18	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
19	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容
20	2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00 2024/06/10 10:00	お問い合わせ内容、お問い合わせ内容、お問い合わせ内容

表計算ソフトに保護者からの問い合わせ内容が反映される。対応内容を入力して、リアルタイムでどのような対応をしているか共有できる。



18時以降の保護者からの電話対応はやめた。緊急時の連絡は保護者用サイトへ問い合わせフォームをアップして対応し、電話対応の業務解消。また緊急の保護者からの連絡があると表計算ソフトが更新されることで通知が届き、速やかに気づくことができる。

保護者対応DX

- カレンダーアプリで予約されたご家庭専用のオンラインリンクが生成されるので、保護者も安心してオンラインで個人懇談ができる。
- 懇談の予約などを保護者サイトへ載せることで、保護者がサイトを利用する機会が増えた。
- 緊急の問い合わせフォームでは、問い合わせが入るとメールで連絡が入るようになっており、速やかに気づくことができる。
- 保護者対応の業務が少なくなった分、教材研究などの時間を確保しやすくなった。